

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ごみ処理施設運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	恵那市
交付金事業の成果目標	1世帯1日当たりのごみ排出量 1.7kg(令和5年度)
交付金事業の成果指標	$[\text{年間ごみ排出量} - (\text{雑紙削減量} + \text{生ごみ水分削減量})] / 365 \text{日} / \text{世帯数}$
評価年度	令和6年度
成果実績	1.79kg
達成度(%)	70.00%
目標値	1.7kg
評価年度の設定理由	PDCAサイクルによる事業改善を図るため、実施事業の実績数値が確定する翌年度中に評価を実施。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金を活用し、ごみ処理サービスの充実に努めたことにより、計画の目標値の達成は出来なかったものの、ごみ排出量は減少しており、引き続き目標達成に努める。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無し

(備考)事業ごとに作成すること。

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	下呂市消防署運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	下呂市
交付金事業の成果目標	救命講習受講者数 下呂市人口の10%
交付金事業の成果指標	救命講習受講者数率＝受講者数÷下呂市人口×100
評価年度	令和6年度
成果実績	5%
達成度(%)	50%
目標値	10%
評価年度の設定理由	毎年度の事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金の活用により、下呂市消防本部中消防署、北消防署、南消防署の消防職員60名の6か月分の人件費を確保することができました。 当市では、下呂市定員適正化計画(令和3年度から令和7年度)に基づき、組織の年齢構成に配慮し職員を採用しています。下呂市消防本部においても安定した消防力の維持を目的とし、若手から熟練までバランスのとれた職員を配置することで、年齢構成の平準化に努めました。 また、熟練消防職員が若手消防職員に対し、消防機械器具の適切な取扱や迅速な救命処置の訓練等を行い、下呂市消防本部管内の地域住民の生活の安全を確保することができました。 救急講習に関しては、令和5年度はこども園の保育士や小中学校の教員、PTA会員を中心に受講していただき、知識・技術の再確認をしてもらうことができました。また、コロナ禍で中断していた応急手当普及員講習も再開し、救急講習を市内で広めていただく普及員の増員確保も実施しました。 今後も、地域住民の生活の安全を確保するため、下呂市内消防署への消防職員の適正な配置を行っていきます。中長期的には、下呂市定員適正化計画(令和3年度～令和7年度)に合わせて取組を継続することとし、計画の見直しに合せて改めて評価を実施します。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

(備考)事業ごとに作成すること。